



中央区立 ときわ 常盤小学校 講堂

施工地／東京都中央区日本橋本石町
4-4-26
工事完了年月／平成26年9月
講堂延床面積／315.00m²
構造／鉄筋 コンクリート造 平屋建



中央区立 中央小学校

施工地／東京都中央区湊1-4-1
工事完了年月／平成26年8月
改修延床面積／135.71m²
構造／鉄筋コンクリート造 5階建

安全な施設づくり (特定天井耐震改修設計)

関東大震災復興期の昭和4年に建てられた中央区立常盤小学校は、半円アーチ窓が連続する優雅な雰囲気をかもし出す教育施設で、東京都の歴史的建造物のほか経済産業省の近代化産業遺産にも選定されている建築物です。講堂改修設計業務では内部の歴史的な装飾や雰囲気の継承と、天井の耐震性能の向上を図る改修計画を行いました。天井中央部分は従来の吊り天井から特殊な膜を張る膜天井に改修、吊る構造から張る構造として安全性に配慮、その周囲の照明器具や排気口部分は軽量のグラスウールボード材をはめ込むシステム天井工法を採用し、さらにその外周部分には耐震ブレース等を設置する在来型の工法を用い天井全体の軽量化と安全性に努めました。



子どもたちを見守り続けて

東京都中央区では、子どもの健全育成を図るため、放課後や土曜日などに児童が安全に安心して過ごせる子どもの居場所「プレディ」を開設しています。中央区立中央小学校の改修設計業務では併設する幼稚園の遊戯室をプレディに改修し、2室対応を可能とする可動間仕切壁を設置するとともに、トイレ改修等を行い使い易さに配慮する計画といたしました。プレディは、子どもたちがいきいきと遊び(Play)、学習(Study)することができることを願って創られた愛称です。プレディルーム以外にも体育館や校庭で楽しく安心して遊ぶことができます。



プレディ1



プレディ2



プレディ職員室

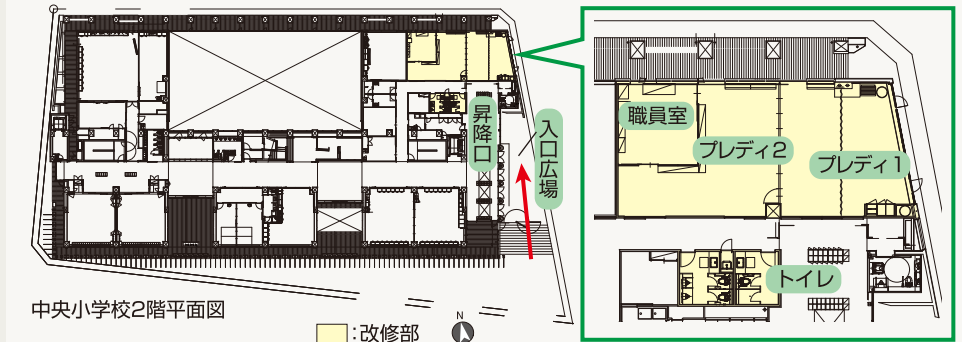
平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、大規模空間を要する建築物の天井が落脱し、かつてない規模で甚大な人的・物的被害が多数発生しました。これらの被害を踏まえ、落脱によって重大な危害を生ずる恐れがある天井を「特定天井」と規定し、落脱対策に係る基準が新たに定められました。既存建築物に設置されている天井が「特定天井」に該当する場合は、新たな基準に適合させるか又は落下防止措置を講ずるなどの速やかな対策の実施が求められます。

※「特定天井」とは

吊り天井であって、次のいずれにも該当するもの。

- 1_居室、廊下そのほか人が日常立ち入る場所に設けられるもの。
- 2_高さが6mを超え、水平投影面積が200㎡を超えるもの。
- 3_天井面構成部材等の単位面積質量が2キログラムを超えるもの。
(天井を構成する部材の質量が、2Kg/㎡を超えるもの)

平面図



中央小学校2階平面図

□:改修部

拡大図

